

自然科学研究機構基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会（平成23年度）
議事要旨

日 時：平成23年3月28日（水） 13：30～16：30

場 所：基礎生物学研究所 1階 会議室

出席者：山下（北海道大学）、酒泉（新潟大学）、丸山（放射線医学総合研究所）、武田（東京大学）、日比（名古屋大学）、谷口（慶應義塾大学）、三谷（東京大学）、高田（基生研）、山崎（遺伝学研究所）、成瀬（基生研）

オブザーバー：井上（東京大学大気海洋研究所）、木下（京都大学）、明石（宮崎大学）、田中（基生研）

陪席者：佐藤（NBRP 事務局長）、金子（基生研）、笹土（基生研）、佐藤（新潟大学）

議事に先立ち、山下運営委員会委員長から挨拶があった。

（報告事項）

1 第2期NBRP Medaka 平成23年度の活動報告について

- ・基礎生物学研究所（中核機関）
成瀬副委員長から、資料1に基づき、平成23年度の活動内容について報告があった。
- ・新潟大学（サブ機関）
酒泉教授から、資料4に基づき、平成23年度の活動内容について報告があった。

2 第2期NBRP Medaka 5年間の総括について

成瀬副委員長から、資料1に基づき、メダカの分譲系統数、分譲クローン数、分譲孵化酵素数、寄託数について報告があった。また、酒泉教授から、資料4に基づき、サブ機関における第2期の活動内容について総括があった。

3 第3期NBRP Medaka 運営方針と活動予定

成瀬副委員長から、資料2に基づき、第3期のNBRP Medaka の目的について説明があった。また、第3期から宮崎大学と理化学研究所がサブ機関に加わることで、基礎生物学研究所はゼブラフィッシュのサブ機関としてゼブラフィッシュ凍結精子のバックアップを行う旨説明があった。

続いて、各機関における平成24年度の活動計画について説明があった。

- ・基礎生物学研究所（中核機関）
成瀬副委員長から、資料2に基づき、平成24年度の活動内容について報告があった。
- ・新潟大学（サブ機関）
酒泉教授から、資料4に基づき、平成24年度の活動内容について報告があった。

・宮崎大学（サブ機関）

明石教授から、資料3に基づき、平成24年度の活動内容について説明があった。

（審議事項）

1 「メダカ」バイオリソース運営委員会委員（第3期）について

山下運営委員会委員長から、運営委員会委員の構成について説明があった後、成瀬副委員長から委員候補者に関する説明及び提案があり、審議の結果、別紙のとおり、運営委員会委員（第3期）を決定した。

2 「メダカ」バイオリソース運営委員会委員長（第3期）について

山下運営委員会委員長から、委員長は委員の互選によると規定されているとの説明があった後、成瀬副委員長から委員長の推薦があり、審議の結果、北海道大学山下正兼教授を運営委員会委員長（第3期）とすることを決定した。

3 第3期メダカバイオリソース実費徴収について

成瀬副委員長から、バイオリソース実費徴収において、バイオリソースを再送する場合は手数料を徴収していないことと、人工授精卵の系統数の数え方について説明があった後、今後、再送の場合でも手数料を徴収すること、人工授精卵の提供で異なる2系統と人工授精した際は2回分の手数料を徴収することの提案があり、審議の結果、これらを承認した。

なお、委員からバイオリソース利用者が上記の内容を理解できるように、ホームページに明記するように依頼があった。

4 その他

・大学連携バイオバックアッププログラムについて

成瀬副委員長から、資料5に基づき、基礎生物学研究所で実施予定の事業について説明があった。

・関連プログラムの応募状況について

成瀬副委員長から、NBRP基盤技術整備プログラムにメダカバイオリソースに関連して、4件の応募を行っている旨の報告があった。

・メダカバイオリソースに係るデータベースワーキンググループの設置について

山崎運営委員から、メダカバイオリソースに係るデータベースワーキンググループの設置要請があり、運営委員会として検討することとした。

以 上